

平成 26 年台風 18 号に伴う出水と日吉^{ひよし}ダムの防災操作について

淀川水系桂川の水資源機構日吉^{みずしげん きこう ひよし}ダム（南丹市日吉^{なんたんし ひよしちょう}町）流域では、台風 18 号の影響により、10 月 5 日 13 時から 6 日 18 時までの総雨量が 96 mm（ダム流域平均雨量）を記録しました。

この降雨により、ダムへの最大流入量は、毎秒 159 立方メートルとなりました。

この洪水に対して、日吉ダムでは防災操作を実施し、ダム下流の保津橋^{ほつばし}地点の河川水位を、最大約 0.3 メートル低減したものと推定しています。

※防災操作：大雨により、ダムに流れ込む水の一部をダムに一時的にため込んで、ダムから下流に流す量を減らし、下流の川の水位を低減させる操作。

※今回の発表は速報値であり、今後の精査により数値等が変わることがあります。

平成 26 年 10 月 8 日

独立行政法人 水資源機構 日吉ダム管理所

平成26年台風18号に伴う出水と日吉^{ひよし}ダムの防災操作について

台風18号の影響により、淀川水系桂川の日吉ダム（南丹市日吉町）流域では、10月6日5時から6時までの1時間の雨量が最大27mmを記録し、降り始めの10月5日13時から6日22時までの総雨量が96mm（ダム流域平均雨量）に達しました。

この降雨により、ダム流入量が増加し、6日10時27分には洪水量（毎秒150立方メートル）に達したため、防災操作を開始しました。

6日10時33分には流入量が最大（毎秒159立方メートル）となりました。同時刻のダム流下量は毎秒65立方メートルであり、日吉ダムで毎秒94立方メートルの貯留を行い、下流の河川へ流す水量を約6割低減しました。

防災操作の概要

	流域平均 総雨量	ダムへの流入量が 最大となった時刻	同時刻における ダムへの流入量	同時刻における ダム流下量	同時刻における ダム貯留量
日吉 ダム	96mm	平成26年10月6日 10時33分	毎秒159m ³	毎秒65m ³	毎秒94m ³

今回の防災操作により、日吉ダムが無い場合と比べ、ダム下流の保津橋^{ほつばし}地点（^{かめおかしほつちようしもなかじま}亀岡市保津町下中島地先）の河川水位を、最大約0.3メートル低減したものと推定され、ダム下流の河川水位の低減に貢献できたものと考えられます。

保津橋地点の水位低減効果

保津橋地点の河川水位が 最高水位となった時刻	同時刻における 保津橋地点の河川水位	ダムがなかった場合 の同地点の最高水位	水位低減効果
平成26年10月6日 15時00分	1.66m	1.94m	0.28m

日吉ダムでは、今後も治水・利水の両面でダム管理に万全を期し、ダムの効果が最大限に発現できるよう努めて参ります。

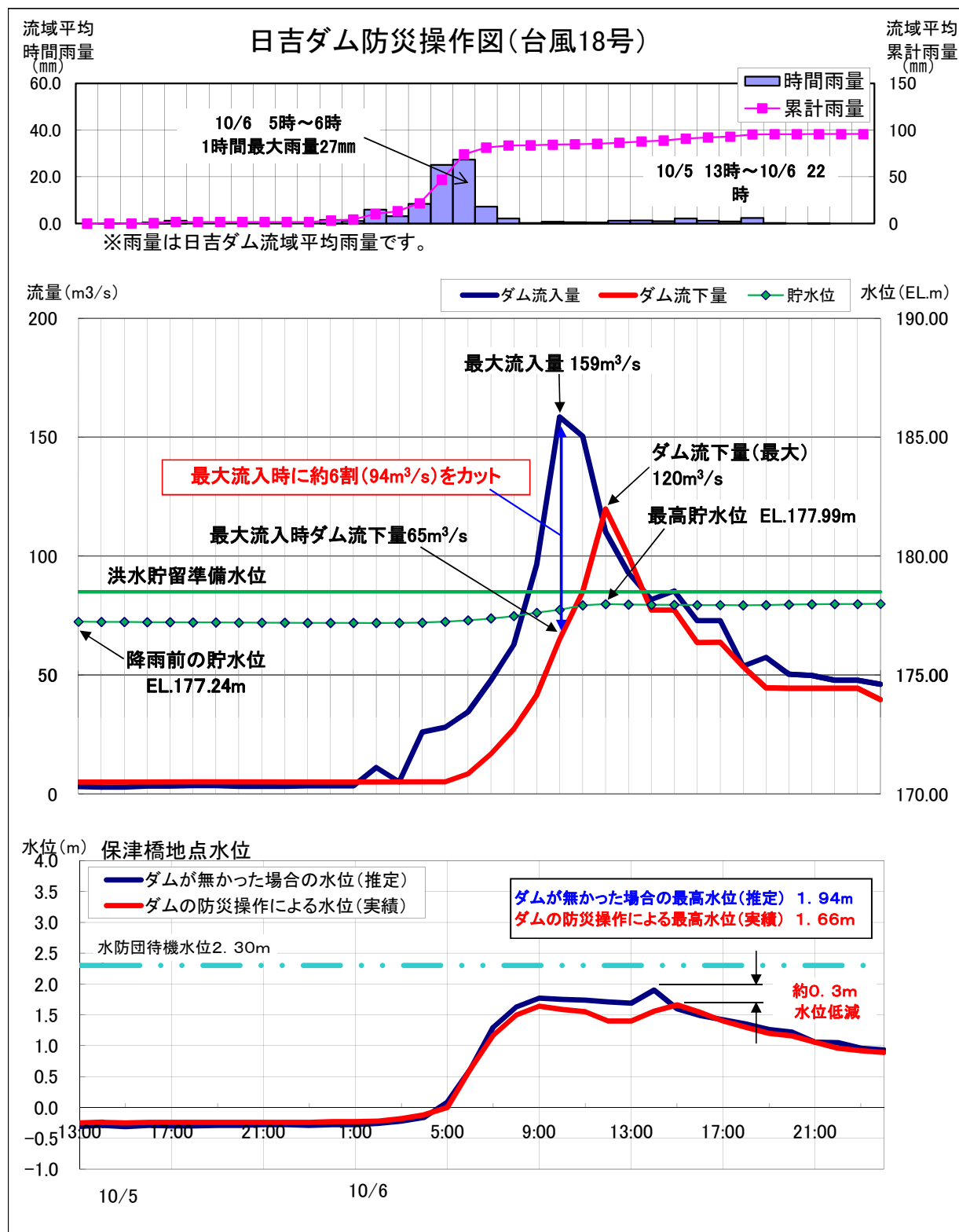
位置図



平成26年台風18号に伴う日吉ダム防災操作について

資料2

・管理開始(平成10年4月)以降26回目、本年3回目の防災操作を実施



管理開始(平成10年4月)以降の主な出水の記録

順位	出水名	総雨量 [mm]	最大流入量 [m ³ /s]	最大流入時の ダム流下量[m ³ /s]	最大流入時の 貯留量[m ³ /s]
1	平成25年 9月 台風18号	345	1,694	148	1,546
2	平成26年 8月 前線	214	1,291	42	1,249
3	平成26年 8月 台風11号	298	913	14	899
25	平成26年10月 台風18号	96	159	65	94

※ 管理開始(平成10年4月)以降の出水で、最大流入量が大い方から3番目までと今回を記載しています。

※ 数値等は速報値であり、今後の精査により変わることがあります。

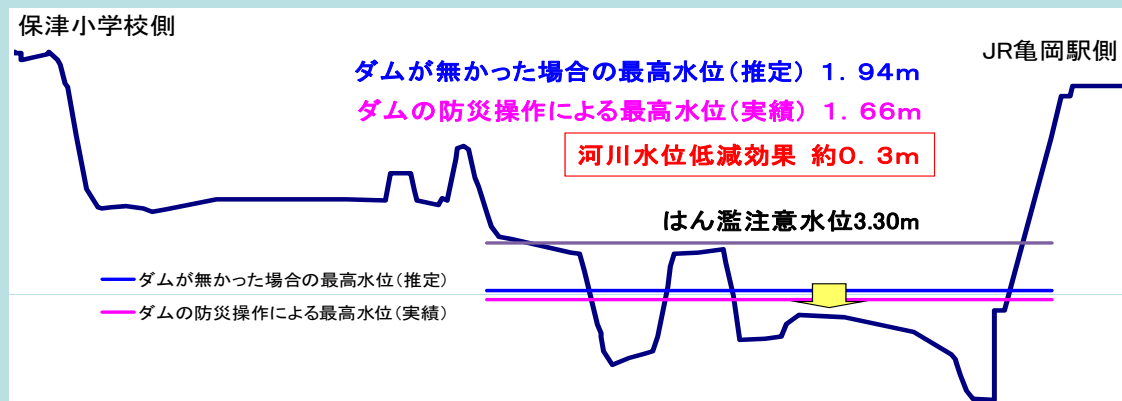
平成26年台風18号に伴う出水と日吉ダム防災操作について

資料3

- 台風18号の影響により、淀川水系桂川の日吉ダム流域では、1時間雨量で最大27mm、降り始めからの総雨量は96mmを観測しました。この降雨により、ダムへの最大流入量は毎秒159立方メートルを記録しました。
- 日吉ダムでは、最大流入時に毎秒94立方メートルの水をダムに貯留し、下流の河川へ流す水量を約6割低減しました。
- 今回の防災操作により、ダム下流の保津橋地点（亀岡市保津町下中島地先）の河川水位を、最大約0.3メートル低減したものと推定されます。



保津橋地点(保津川下り乗船場付近)での水位低減効果



※ 今回の発表は速報値であり、今後の精査により数値等が変わることがあります。